

# マキノ病院ニュース

## 叙勲受章に際して

看護部参与 松本 美和子

この度思いもよらず、平成二十九年春の叙勲において瑞宝単光章の受章の栄誉に浴しました。

今までは自分に無縁なものだと思っていましたので、叙勲についてあまり知識がありませんでしたが、この機会に調べてみました。叙勲は国家又は公共のために功労があつた方を対象に勲章が授けられるもので、日本の勲章は大勲位菊花章、桐花大綬章、旭日章、瑞宝章、文化勲章、宝冠章の6種類です。旭日章は功績の内容に着目し顕著な功績を挙げた方に授与され、また瑞宝章は公務

等に長年にわたり従事し成績を挙げた方に授与されます。それぞれ大綬章、重光章、中綬章、小綬章、双光章、単光章の6段階に区分されます。春秋叙勲は毎年2回、春は4月29日、秋は11月3日に発令されます。毎年春秋に全国で4000名ずつが受章されます。その内女性性は8%位です。滋賀県では毎回40名前後の方が受章されています。

私は大津赤十字高等看護学院を卒業後、二回の転住時の九ヶ月のブランクを除いて現在までの四十五年六ヶ月、育休も病休もなく働いてきました。

その間、滋賀県看護協会の理事を2回させていただき、この度、看護協会からの推薦を受け、滋賀県健康福祉部、厚生労働省での審査を経て、今年5月8日に知事公館で伝達式が行われ勲章を拝受いたしました。その勲章を着用して5月12日に、厚生労働省での式典後バス14台で皇居へ向かい、長和殿（お正月の一般参賀でお出ましになられるペランダのある建物）の春秋の間で天皇陛下に拝謁し、お言葉を賜りました。一度に5、600人が拝謁するのですが、私は運よくほぼ中央の前から二列目でしたので、はっきりと拝顔でき、お声も拝聴させていただくことができました。ほんの五分ほどの時間でしたが、大変貴重な体験をさせていただくことができ、感動するばかりでした。二度とない経験をさせていただき、しっかりと受章の重みと喜びをかみしめてきました。こうして受章できたのも、今まで一緒に働いてきた周りの方々のご指導とご支援の賜物と深く感謝しています。今後も、ささやかながら社会に貢献できればと思っています。



## ドクターコーナー



ん。

飲酒がもたらす病気として、まず皆さんが思い浮かぶのは、脂肪肝や肝硬変といったものと思いますが、肝臓疾患だけでなく、咽頭がん・食道がんなど、肝臓がん以外の発がんの原因にもなります。また痛風、筋

体への影響以外にも、ひとときの飲酒により一過性の「脳のマヒ」をおこします。つまり、記憶力・判断力・自制心・運動機能などが鈍り、いわゆる「酔い」という状態になると、転倒・転落・さまざまな事故がおり、また「脳のマヒ」

こしています。それに伴った社会的損失は4兆円を超えるともいわれ、個人や家庭だけの問題ではなく、社会全体の問題になっています。次にアルコール依存症について少しお話ししてみましょう。日本には約80万人ほどの患者がおり、依存症になる危険性が高まるとされる「多量飲酒者」は700万人を越えると言われてい

患者の多くは、依存している自覚のない方が多いため治療が困難になることが多い傾向にあります。「それほど飲んでいない」と主張し、過少報告する人をよくみかけると思います。

治療には、まず本人に自覚させることから始まり、そして家族周囲の人々の大きな協力が必要となり、非常に困難な道になります。

これから夏本番をむかえます。冷たいビールが欲しくなります。日頃のストレスを発散したくなり

## お酒による病気と諸問題

内科 寺尾 晃一

「酒は百薬の長」という言葉があります。確かに動脈硬化症や冠動脈疾患など、一部の疾患リスク低下と関係があり、適度な飲酒には一定の健康効果があるといわれています。

ただ、飲まない人より飲んだ人の方が健康というわけではありません。

力低下、骨粗しょう症の原因になるほか、消化器（胃炎、膵炎など）神経（脳萎縮、末梢神経障害など）循環器（不整脈、心筋症など）など全身のさまざまな臓器に障害をもたらし

ます。こういった長期の飲酒歴による身

は、暴力・犯罪の引き金にもなり

ます。

実は、飲酒に関連した死亡は圧倒的にタバコによるものよりも多いのです。

飲みすぎは病気や事故だけでなく、職場での労働損失をも引き起

程度です。）

今よく問題となっているタバコによるニコチン依存症とアルコール依存症の大きな違いは、自覚のあるなしです。アルコール依存症

飲酒運転はもちろんのこと、急性アルコール中毒で病院に運ばれないようにしましょう。